

第 130 回 東葛しぜん観察会

小さい秋見～つけた

日 時：2016 年 10 月 2 日（日）9 時 30 分～12 時 天候：晴れ

場 所：清水公園（野田市）

参加者：大人 10 名、子ども 2 名、指導員 11 名

担当指導員：片岡・小島・高橋

「ネイチュア・フィーリング」日本自然保護協会がすすめている体の不自由な人とともに楽しむ自然観察会。「五感を使って秋をさがそう」というテーマで、野田市にある清水公園で観察会を行いました。「ネイチュア・フィーリング」って？？ なにと思われ方がいると思いますので紹介させていただきます。（新宿御苑を活動の場にしている「ネイチュア・フィーリングをすすめる会」案内より説明させていただきます）。

誰でも気軽に参加できる、子どもも大人も、そして体の不自由な人もみんな一緒になってできる、それぞれの人が持っている様々な感覚を十分に使い、自然との出会いをみんなで分かち合う、身近な自然をゆっくりしたペースで楽しむ、それがネイチュア・フィーリング自然観察会です。これをもとに今回私たちは観察会を計画しました。準備段階で、手で触ってもらえる高さにある樹木を選び、アカマツとクロマツの葉の違い、メタセコイアの雄花と雌花、カヤとモミの葉の違い、カヤの実と匂い、トチの実の大きさ、広場にあるマテバシイの樹形の大きさを体で感じてもらうため、枝先のところに一人ずつ等間隔に立ってもらい向かい側の人に声をかけ、その声を聞いてもらい、聞こえてくる声の大きさで距離を感じてもらう。また足元を考えコースを選択しました。ただ残念だったのは視覚障がい者の方が 2 名だったこと。他の参加者にも同じコースで同じように観察していただきました。

コースを廻る前に、公園内にある室町時代からある慈光山金乗院仁王門前でドングリ体操をしてから出発しました。障がいのある方も小さい丸いドングリの形になってくれて、根を出し、芽をだし、風にふかれ揺れる樹木になって、にこにこしながら参加してくれました。小さい子も飽きることなく、大人といっしょにコースを廻り、普段とは違う ゆったりとした観察会でした。今回担当してみて思ったのは難しいの一言です。障がいを持った方に自然を楽しむこと、ネイチュア・フィーリングのことを、広報を担当していただく各紙の方々に知ってもらうこと。また多くの指導員の方に体験してもらいたいとも思いました。久しぶりの良いお天気に恵まれ感謝です。

最後にみんなで ♪ 小さい秋見つけた ♪ を歌って解散しました。



メタセコイアの雄花はたくさんありますね マテバシイのドングリは大きくて～葉っぱも観察